

東京, 2014年7月30日

アクシス、多機能装備、WDR、HDTV 1080p、高画質の ハイエンド固定ネットワークカメラを発表

「AXIS

Q1615/-E」固定ネットワークカメラは厳しい設置環境においても多彩な機能が利用可能。優れた画質でデナイト機能搭載、屋内外の監視利用に最適

ネットワークカメラのリーディングカンパニー、アクシスコミュニケーションズ株式会社(本社：東京都新宿区、以下アクシス)は、大好評をいただいている「AXIS Q16シリーズ」の最新モデル、「AXIS Q1615/-E 固定ネットワークカメラ」を発表します。本製品はワイドダイナミックレンジ(WDR)、Lightfinder、高解像度HDTV 1080p、電子動体ブレ補正 (EIS) および衝撃検知機能を搭載した、アクシス固定ネットワークカメラの中でも特に高機能な、ハイエンド機種の一つです。

“空港、駅、公共の場および敷地周辺の保護などは、画質が決定的な重要性を持つ場所の例として挙げられます。たとえ光環境が極めて難しい状況にあっても、映像の調査・確認の時間をできるだけ短時間で済ませ、資産を守る必要があります。新しい「AXIS Q1615/-E」カメラはフルHD解像度を提供するだけでなく、明暗差の激しい場所に対応するモードと低照度に対応するLightfinderモードを自動的に切り替え、明るい場所と暗い場所を同時に捉えて詳細を提供できます。さらに、アクシスの固定カメラで初めてHDTV 1080p 解像度で50/60fpsでの撮影が可能となりました。通常の2倍のフレームレートのため、人や車両が素早く動いていてもより滑らかな映像が撮影できます。”(アクシスコミュニケーションズAB、製品開発ディレクター、エリック・フランリドよりコメント)

WDRフォレンジックキャプチャーとLightfinderモードをスムーズに切り替える機能のほか、樽型歪曲補正や、振動のある状況で撮影された画像への影響を軽減する電子動体ブレ補正 (EIS) などのイメージ処理で、画像の有用性を高めます。さらに、H.264ハイプロファイルおよび強化された最大ビットレートの制御機能で、帯域幅の上限を設定して利用できます。

シリアル通信ポートやPIRセンサーなどの外部機器に給電可能な12V DC出力を提供するI/O

ポートなど、特にカメラの大規模設置にかかわるシステムインテグレータにとって、非常に役に立つ機能が満載です。高い性能を搭載した本製品は、「AXIS Camera Application

Platform」に対応した、さらに高度なアプリケーションが利用可能です。カメラの状態や設置された環境にかかわらず最高の映像を提供するレベルアシスタントや自動回転機能など、カメラに内蔵された革新的な機能で、設置作業をスピードアップし映像の質を

高めます。衝撃検知機能を利用して、カメラに衝撃が加えられた時にアラームをスタッフに通知したり、破壊行為があった際に音声クリップを再生することも可能で、学校や交通機関における利用に最適です。屋外対応の「AXIS Q1615-E」は厳しい天候条件での使用に耐えるケーシングを採用しており、衝撃や破壊行為からもカメラを保護します。

本製品は「AXIS Camera Station」や、アクシスの「Application Development Partner Program」を利用したサードパーティ製アプリケーションによるビデオ管理ソフトウェアを利用可能です。また、ONVIFにも対応しています。

■アクシスコミュニケーションズ株式会社について

Axisはプロフェッショナルなネットワークビデオソリューションを提供するIT企業です。グローバルなネットワークビデオ市場を牽引するリーダーとして、アナログからデジタルビデオ監視への移行を推進しています。Axisの製品とソリューションは主にセキュリティ監視とリモートモニタリングに焦点を絞り、革新的でオープンなテクノロジープラットフォームを基盤としています。

Axisは、スウェーデンに本社を置き、世界の40ヶ国以上の拠点で1600名以上のスタッフが従事し、179ヶ国以上の販売パートナーと協力関係を築いています。Axisは、1984年に設立され、NASDAQ OMX Stockholm (ティッカーシンボルAXIS) に株式上場しています。より詳しい情報は、

<http://www.axis.com/>をご覧ください。